

# ゆりかご 園だより



2024.6.1

2期(6~9月)のねらい  
からだづくり活動を通して子どもの仲間  
関係の質を高めよう

「ま、いいか」と「あ、そうか」

子どもは、成長とともに誇りや自信をもつようになります。友だちと自分を比べるかも育ってくるので、自分の弱さや間違いに敏感にもなります。

昨年のりす組は、年度当初からもめ事も多く、ひかき傷ができてしまうケンカも日常茶飯事の集団でした。4月の懇談会に参加した私は、1年かけて「ま、いいか」「あ、そうか」と、気持ちに余裕が見られる集団になってほしいと思っていることをお話しさせていただきました。

担当の代わりに朝の“おはよう”のあつまりに入った時など、子どもたちとかわる時間に「ま、いいか、そういう時もある」「あ、そうか、そういうこともある」と思えるようになってほしいなと願いながらあそびました。なかなかなこちら予想以上に難しく、相変わらずもめ事の多い日が「そう組」になっても続きました。

## 「ありがとう」

そんな中、春の遠足に行、た時のことです。お弁当を食べ終わった子からまたあそび始めたのですが、Sちゃんも「早くあそびたい」と思ったらしくお弁当箱をリュックにしまった後、友だちのところへ走り寄ろうとしました。敷物がそのままだったので「Sちゃん敷物忘れてるよ」と声をかけてから、「あ、忘れてるじゃないことばの方が良かったかな」と一瞬思いました。Sちゃんは後ろを振り向き「あ、ほんとだ。ありがとう」と言、て戻、てきたのです。

Sちゃんは友だちや大人に「～だよ」と声をかけられると指摘をされたと感じるのか、「知、てる!」「言、わな、くて、い、い!」と怒り顔で言うことがよくありました。な、ん、て言、たら受、け、入、れ、や、す、い、か、な?と考、え、な、が、ら声、を、か、け、る、こ、と、が、度、々、あ、つ、た、の、で、す。か、ら、こ、の、こ、と、ば、に、は、と、も、驚、き、ま、し、た。「教、え、て、く、れ、て、あ、り、が、と、う」の、こ、と、ば、か、Sちゃん、の、口、から、出、る、と、は、思、わ、な、か、つ、た、の、で、…。

先、の、話、に、戻、ると、「お、は、よ、う」の、集、ま、り、で、は、ク、イズ、を、出、す、こ、と、が、多、く、「ま、い、い、か、当、た、ら、な、い、時、も、あ、る」「あ、そ、う、か、正、解、は、〇〇、か」と穏、や、か、な、気、も、ち、で、受、け、止、め、て、く、れ、る、こ、と、を、願、っ、て、い、る、の、で、す、が、…、毎、回、泣、き、声、の、響、き、渡、る、ク、イズ、大、会、と、な、っ、て、い、ま、す、が、ひ、か、き、傷、が、で、き、る、ほ、ど、の、ケ、ン、カ、は、な、く、な、り、ま、し、た。卒、園、す、る、頃、に、は、泣、き、声、が、聞、か、れ、な、く、な、る、か、な?